

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	25	事業名	会員加入促進運動強化事業			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	13	施策名	実効性の高い会員加入促進運動の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員数の減少に歯止めがかからず、商工会の組織力低下が懸念され、会員増強による組織基盤の強化につながる取組が求められている。

2. 事業のねらい

会員増強による組織基盤の強化に向け、商工会において中長期計画に基づく会員加入促進運動の展開を支援する体制を整える。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30	B	R1		R2	
-----	-----	---	-----	---	----	--	----	--

平成30年度に「商工会加入強化ガイドライン」を策定し、推進手順と共通様式により、全県の商工会が統一の体制で支援できる環境を整えることができた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

「商工会加入強化ガイドライン」に基づく手順を全商工会で実施していくよう事例等を提供して意識啓発を図る。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
60	「会員加入促進ガイドライン」の作成	平成30年度に「商工会加入強化ガイドライン」を策定、商工会へ実施を促している。	a	a	a	A
61	商工会における計画的加入促進運動の実施	各商工会で、ガイドラインに基づく加入促進運動を実施した。	a	a	a	A
62	会員増強(組織率・新規加入者数)	ガイドラインに基づく加入促進運動を実施したが、目標達成には至らなかった。	a	b	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	62					取組コード	62					取組コード					
指標名	全県平均組織率					指標名	全県合計新規加入者数					指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	59%	60%	62%	64%	66%	目標	350件	400件	450件	500件	500件	目標					
実績	58%	58%	58%			実績	419件	441件	365件			実績					
達成率	98%	97%	94%			達成率	120%	110%	81%			達成率					
達成度	b	b	b			達成度	a	a	b			達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**

〈評価の理由〉

会員増強による商工会の組織基盤強化のためには、本事業は不可欠であり、必要性は高い。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **b**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

各商工会においてガイドラインに基づく加入促進運動を実施しているが、目標達成には至らなかった。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

全県統一の手順と様式で取り組んでいるため、時間及び人材に係るコストの削減につながっている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **B**

「商工会加入強化ガイドライン」を策定し、全県統一の手順と様式で加入促進運動を実施しているが、経営者の高齢化等による脱退者数に歯止めがかからず、目標達成には至っていない。

3. 課題

商工会職員のガイドラインに対する意識を強化し、より効果的に加入促進運動を展開できる提案が必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

新規加入者獲得による職員へのインセンティブ設定など、職員の業績評価目標への組み込みを促し、職員の意識向上を図るとともに、役員との共通認識のもとで組織一体となった活動が必要である。